

第4回 札幌ジャズオーディオ鑑賞会 報告

日時 7月24日(土) 17:00~19:00 場所 RONDO

報告者: 畔田俊彦

アナログ(LP)／デジタル(CD)聴き比べレポート

1部 デジタルとアナログの聴き比べ

アルバム	LP(アナログ)	CD(デジタル)
	<p>Chick Corea の Now He Sings、Now He Sobs より表題曲の Now He Sings、Now He Sobs を鑑賞しました。</p> <p>このアルバムに関しては、LPの方が音が良かった。透明感も素晴らしかった。</p>	<p>CDはLPの音と比較にならないほど響きが弱く、音源が遠くに感じた。</p> <p>複数の曲がボーナストラックとして追加されているが、LPに比べ音が悪い。(また再発が BlueNote からというのも興味深い)</p> <p>* マスターの状態が良くなかったと思われる。</p>
	<p>Dodo Marmarosa の Dodo's Back! より“Mellow Mood”、“On Green Dolphin Street”の2曲</p> <p>このアルバムは、LPとCDで中音域の出方が微妙に異なっているように感じた。私はLPの音の方が好きだが、CDも悪くはなかった。</p>	<p>CDは少々中音域が弱く感じた。恐らく再生帯域の違いによる影響ではと思うが、好みが分かれると思われる。</p> <p>マーマローサの強いタッチを聞くならばアナログで、曲を聴くならCDをお勧めしたい。</p>
	<p>Bill Evans の At the Montreux Jazz Festival より”Someday my prince will come“</p> <p>LPで聴くと、情報量が少々少ないように感じたがLPの方が聞きやすかった。</p>	<p>このアルバムに関してはCDの方が音の情報量が優れているように聞き取れた。</p> <p>もちろんLPも再生にはなんら問題はないと感じた。透明感もCDの方が少々優れているように思えた。</p>
	<p>Keith Jarrett Trio / Still Live より “I remember Clifford”</p> <p>ただし高域の瞬間音(ドラムのシンバル音等)の残響はLPの方がよく出ているように感じた。</p> <p>ピーク音はアナログの方がよく聞こえるように思えた。</p>	<p>このアルバムに関しては、LP・CDいずれも聞きやすく、録音技術もしっかりしていることが耳で判断できた。</p> <p>ECMレーベルの実力が良く出ている作品だと思った。</p>

<感想>

実際に同一アルバムをLP/CDで聞き比べると、確かな違いが聞き取れました。それは制作時代の技術背景やマスター音源の完成度などの影響はかなりあると思いますが、極端な差ではなく好みが見られる範囲であることが分かります。

平均するとCDとLPではその情報量に違いがあることが分かりますが、人間が聴く範囲ではその情報の種類や傾向などによって好みが見られると思われま

す。またアナログ音源からCDを製造する際もマスタリングする音源(バージョンやテイク)の違いや分解能・音圧・周波数特性などの諸条件が微妙に異なることで、聴こえ方に差が発生すると思われま

す。11月に再度RONGOにて、CDとLPの聞き比べを行う予定です。どうぞお楽しみに。

また第2部では、今秋に発表予定の、沢田マキ(vo)のアルバム”Jingle Jingu”を鑑賞しました。全曲オリジナルで小林桂一家が総動員しての伴奏も聞き応え充分でした。発売が待たれるアルバムです。市内有名CD店及び通信販売にて販売予定です。

- * ”Jingle Jingu”をご提供頂いた沢田マキさんと聞き比べにアルバム(CD/LP)をご提供頂いたGroovy(T.M)さんに感謝申し上げます。
- * 参加された皆様ありがとうございました。鑑賞会終了後もオーディオ談義に花が咲き、たいへん楽しい時間を過ごさせて頂きました。また次回、ご参加頂けます様、宜しくお願い致します。